

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2022年5月17日

商工中金

地域金融機関と協調し、半導体関連製品の生産体制構築を目指す 株式会社ミトリカ様に対し、総額4億5,000万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローン等の取り組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（水戸支店）は、株式会社ミトリカ様（本社：茨城県水戸市、代表者：平沼 博様）に対し、総額4億5,000万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、足利銀行、常陽銀行、筑波銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、理化学ガラス製品製造業者です。ガラスの高精度研磨加工や光学接着加工等ニッチな技術の組み合わせに強みがあり、分析・検査装置に求められる高い精度を実現。国内外の分析機器メーカーから高い信頼を得ています。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達する資金を活用し、現主力工場の隣接地に新工場を建設。新工場では、需要が増加している半導体製造装置向けの新製品の開発を行う他、海外委託加工工程の内製化を進めます。これにより、国内一貫製造体制を構築し、生産性の向上とBCP対応の強化に取り組みます。

商工中金は、現場訪問や経営者ヒアリングを含む綿密な事業性評価を実施し、同社の課題や強みを共有。同社の取り組みが、新製品の開発・更なる生産性向上による企業価値向上のほか、日本のものづくり技術の底上げにも貢献すると考え、民間金融機関と協調し、本融資枠を契約しました。また、商工中金は、別途期間20年期限一括償還型の資本金劣後ローン2億円を融資し、財務基盤の拡充と金融取引体制の強化に貢献しています。

商工中金は、こうしたシンジケートローンへの取り組み等を通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	4億5,000万円 (コミット型タームローン)
アレンジャー兼エージェント	商工中金
参加金融機関	足利銀行、常陽銀行、筑波銀行
契約締結日	2021年12月28日



【株式会社ミトリカ様の概要】

所在地	茨城県水戸市千波町北葉山1785	資本金	8,000万円
代表者	平沼 博様	従業員数	68名 (2021年12月現在)
業種	ガラス製品製造業	設立	1965年6月

【当社製造のICPトーチ】